

はなビアー くずまき花Beer2023

くずまき花Beer2023（町商工会青年部主催）は7月29日、葛巻小学校校庭で開催されました。

ステージでは浴衣や甚兵衛姿の葛巻保育園児が元気いっぱい踊りを披露し、歌手の橘和徳さんや町内のバンドグループ「葦名バンド」も会場を盛り上げました。来場者は家族や仲間と生ビールやかき氷などを思い思いに味わい、日が暮れると夜空に打ち上げられた大きな花火に歓声を上げていました。

千葉佑人さん（葛巻小5年）は「かき氷がおいしかったし、花火はたくさん色があってとてもきれいだった」と話し、楽しい夏の思い出になった様子でした。



①生ビールで乾杯する来場者
②オープニングを飾った葛巻保育園児による踊り③軽快な音楽で会場を盛り上げた「葦名バンド」④さわやかな歌声を披露した橘和徳さん



友好市町北海道新ひだか町と

サッカーで深める友好の絆

両町のスポーツ少年団の試合（赤のユニフォームが葛巻町）



①交流会では本町特産品のぶどうジュースで乾杯②一緒に花火を楽しむ子どもたち③名馬の産地である新ひだか町では乗馬を体験



8月12日と13日の2日間、北海道新ひだか町の高静（こうせい）サッカースポーツ少年団が来町し、葛巻町少年サッカー交流大会が開催されました。

新ひだか町は、明治時代に合併前の旧三石町の開拓に本町から入植した歴史的な縁で友好市町となりました（※）。スポーツ少年団の交流は今回が5回目となり、7月29日と30日には葛巻サッカースポーツ少年団と保護者など合わせて33人が新ひだか町を訪問しました。12日にグリーンテージ

で開催された交流会で来賓の鈴木重男町長は「両町は兄弟のような関係で、子どもたちに今後も交流を続ける願いが生まれるよう願います」と歓迎しました。

総合運動公園で行われた大会には近隣市町のチームも合わせて全6チームが参加。強い雨に見舞われる場面もありましたが、子どもたちは元気いっぱいプレーし、親睦を深めていました。山谷（やまや）さん（葛巻小6年）は「新ひだか町のチームはドリブルやパスがとても上手だった。新しい友だちとたくさん話ができて楽しかった」と笑顔を見せていました。また、新ひだか町の我孫子（あひこみま）さん（桜丘小5年）は「葛巻町は田舎だと聞いていたのに宿泊施設やサッカー場がとても立派で驚いた。みんなと仲良く話したくてまた来たい」と話し、子どもたちはすっかり打ち解けた様子で友情を育んでいました。

※旧三石町の開拓を縁とする友好市町は、ほかに新潟県糸魚川市（旧能生町）、福島県大野市、兵庫県南あわじ市（旧南淡町）で、昭和58年に5市町が「友好の契り」を結んでいます。

地域の交通安全に長年貢献 和野省助さんに警察協力章

和野省助さん（85歳・新町）は、長年にわたる交通安全運動の功績で警察庁長官から授与される警察協力章を受賞しました。

和野さんは、町交通安全協会長のほか北岩手交通安全協会副会長などを歴任。昭和53年から平成8年まで交通指導員として交通安全教室の実施や街頭指導などの交通安全運動に積極的に取り組みました。また、自身は家業の酒販店の配達業務も多い中、免許取得後60年にわたり無事故、無違反で町民の模範となる運転を続けています。

8月9日、和野さんは岩手警察署太田淳署長とともに鈴木重男町長に受賞を報告し、鈴木町



（左から）太田淳岩手警察署長、和野さん、鈴木町長

長は「和野さんの交通安全に対する日頃の心掛けには学ぶことが多く、長年の献身的な活動に感謝します」と述べました。和野さんは「運転をしていると危険を感じることはたくさんあり、啓発ののびりを立てるなどこれからも交通事故防止を呼び掛けていきたい」と話していました。